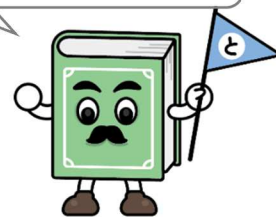


としょえもん



令和5年度第3号(通巻45号)

令和5年度「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞おめでとう

市長賞

「東京都指定無形民俗文化財（民俗技術）
メカイ 里山の自然を守る活動」
横山中学校1年 中本慧 さん【保護者の方から】

小学4年生の3学期から卒業まで、クラスの新聞係で『毎週報道新聞』を発行し、中学でも自主的に続けています。今回の研究では、新聞づくりの手法を応用しました。まずは図書館やインターネットの資料で情報を収集し、メカイの知識を携えて、八王子由木メカイの会を取材しました。取材した人たちとの交流を大切にしています。



市長賞講評

樋口忍 氏（元明星大学客員教授）

メカイ(この土地に自生するアズマネザサを材料とした目籠のこと)に興味を持ち、メカイについて歴史や形などを調べていく過程で材料(メカイ)と自然の関係について考え、論を展開しています。

特にメカイの歴史の中で、人々がメカイを生活の中で取り入れ女性の役割や生活環境の変化とともにメカイが衰退していくことも述べられていて、この地域の人々とメカイの関係や役割が明確にされています。そして伝承や保存、材料について述べられ、里山の自然についてメカイを通してあるべき姿を伝えていきます。また、文献調査がしっかり行われていて、文献名等がきちんとはつきりと掲載されてしっかり調べたことが判り、それをもとに自分の考えを述べ、はっきりと考えが伝わってくる作品でした。市長賞に値する作品です。

コンクール講評

鎌田和宏 氏(帝京大学教授) 第7回『調べる学習
コンクール』には1,028

点の作品の応募がありました。昨年度比約15%増の応募でした。応募の内訳を見てみると小学生798点(約30%増)、中学生230点(約20%減)でした。中学生の応募作品が減ったことは残念でしたが、小学生の応募作品が増えたため、全体の応募点数が増えています。

千点を超える作品の中から、市長賞に中本慧さん(横山中)教育長賞に九里梓葉さん(陶鎔小)・野末和聖さん(七国小)が選ばれました。この3人の他、優秀作品が全国コンクールに出品されました。中には最終選考に残った作品もあったと聞いています。八王子市のコンクールの水準が上がってきたことを象徴することではないかと思います。

また、本年度のコンクールで印象的であったことに、学校として熱心に取り組まれているところが増えてきていることがあります。今年は七国小学校、別所中学校に学校賞をさしあげました。両校共に学校として継続的に取り組まれている成果が発揮されています。応募点数が多いこともさることながら、作品の水準が高まっています。現在の教育課題の最大の一つが探究的学習、すなわち調べる学習です。多くの学校に参考にしていただきたい取り組みかと思います。

図書館振興財団のサイトで入選一部が公開されています。読んでみると調べ方・まとめ方が具体的にわかるといいます。調べ・表現することを楽しみ、是非応募してください。



教育長賞

「未来へつづけ！生きた化石の物語」

陶鎔小学校 4 年 九里梓葉 さん【保護者の方から】

昨年の調べ学習の中で出会ったシーラカンズ。その「生きた化石」と呼ばれる生態に強く興味を持った様子でした。今までの経験から、自ら図書館やインターネットで調べ、まとめようと試行錯誤している姿に成長を感じることができました。これからも興味のあることをどんどん見つけ、探究心を持ち続けてほしいと思います。



「八王子消防署～

高尾山の登山客の命 どう守る？～」

七国小学校 4 年 野末和聖 さん【保護者の方から】

幼少期から消防車・消防士さんが大好きでした。昨年、消防に関する調べる学習を作成し、今年は更に詳しく知りたいと本を手に取り、消防署や高尾山へ足を運びました。好きな事を学び、今回思いがけず賞をいただけたことは何よりも本人の励みになったことと思います。今後ものびのびと知的好奇心を高めてくれる事を願っています。

教育長賞講評

秋本浩市 氏(元帝京大学客員准教授)

九里さんは去年、首長竜を調べた時、本の中でこの魚の名前を知り水族館で見ることができました。今年はこの魚について調べ学習に取り組んだ探究心は素晴らしく感心しました。

シーラカンズの名前や化石と歴史など年代別にいろいろな種類のシーラカンズがいることを細かく調べました。体の秘密では自分の疑問を絵にして上手にきれいにまとめ体の中の仕組みなども詳しく調べています。さらに、幅広く海洋汚染にも触れ、住みやすい海をも考えていることは立派です。資料や写真が沢山入っておりまとめ方も工夫された素晴らしい作品で感銘しました。

野末さんは八王子消防署について調べました。更に、～高尾山の登山客の命 どう守る？～ という八王子市の地域性を活かし鋭い視点で調べ学習に取り組みました。オフロードバイクの消防活動二輪車で山頂まで約15分で行けることに驚きました。八王子消防署や浅川出張所の豆知識として分かりやすくまとめました。最後に「自分も高尾山に登る時は体調確認をして、安全に登山を楽しみたいと思います。」とまとめていました。自分の意見や感想をはっきりさせよくまとめられた素晴らしい作品です。



16 作品を図書館振興財団主催の全国コンクールへ出品しました。全国コンクールの結果は⇒QR コードから



市長賞	横山中学校	1 年	中本 慧	東京都指定無形民俗文化財（民俗技術）メカイ 里山の自然を守る活動
教育長賞	陶鎔小学校	4 年	九里 梓葉	未来へつづけ！生きた化石の物語
	七国小学校	4 年	野末 和聖	八王子消防署～高尾山の登山客の命 どう守る？～
	大和田小学校	1 年	河崎 愛子	かいはすごいきものだ！
優秀賞	七国小学校	2 年	高橋 あずさ	しりたい！あかちゃんのこと～そうたとわたしのものがたり～
	大和田小学校	3 年	内藤 由佳子	見るためだけじゃない！！～目の役割～
	櫛田小学校	3 年	村上 心都	本をかく人になりたい！
	小宮小学校	4 年	松岡 直	目指せ！やさしいけんちく～住む人の持ちように合わせた家づくり～
	大和田小学校	4 年	河崎 幸太郎	鉄道はなぜ廃線になってしまうのか
	松が谷小学校	4 年	中主 米苗	大栗川の鳥
	第八小学校	5 年	野崎 莉子	私たちの生活と下水道～今 私たちにできること～
	由木中央小学校	5 年	大出 由翔	岩石のでき方と岩石はどのくらいの時間をかけてできるのか
	由木東小学校	6 年	小橋 七実	人と犬はどのように関わってきたのか？
	別所中学校	1 年	武内 望緒	吹奏楽の楽器ホルンについて
	別所中学校	1 年	野上 優那	くすりの教室
	別所中学校	1 年	森永 夢菜	音楽の聖人 ベートーヴェン

別所中学校と七国小学校が受賞！ —学校賞から「調べる学習」を考える—

八王子市調べる学習コンクールがスタートしてから7年(7回)がたちました。学校賞は、学校ごとのコンクール参加作品数や調べの内容、まとめ方等を評価し、決定してきました。

本年度、小学校は七国小学校が327作品、中学校は別所中学校が130作品と抜きんでていました。調べる学習の内容としては、七国小学校は生き物について(3年生)、湯殿川を通して(4年生)、また、別所中学校は、生徒一人一人が調べたい個々のテーマを設定し、学習に取り組みました。

その他、作品数の多かった学校は、櫛田小学校77作品、緑が丘小学校98作品、恩方第一小学校28作品、櫛原中学校95作品でした。

ここで、特筆したいことは、学級、学年、学校単位の学習であったことや、調べる学習を通して、アクティブ・ラーニングの視点を重視した学習が進められたと受け止められる点です。小学校、中学校学習指導要領(平成29年告示)の基本方針の一つに『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善(アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善)を推進することが求められる」とあります。

まさに調べる学習は、学習指導要領改訂の考え方、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点を重視した学習と言えます。今後この学習が新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育むため、学級、学年という大きな単位での学習へ取り組み、それが学校全体としての授業改善に大きく貢献するものと確信しています。

郷土について調べよう 高尾山学園「八活」コーナー



写真1 郷土資料コーナー



写真2 情報ファイル

高尾山学園は郷土学習の取り組みとして、「八王子に関する学習活動(八活)」コーナーを学校図書館と各フロアに常設しています。郷土の歴史や文化について掲示板を使い視覚的に伝えることで、地域に対する理解を深めるねらいです。

郷土を紹介する情報の出所となるのは、学校図書館で所蔵する豊富な郷土資料(写真1)です。市史、郷土ゆかりの人物伝記、歴史や文化に関する書籍、地図、写真、パンフレット類など、収蔵する郷土資料は多岐にわたります。学校司書はそれらの資料を積極的に収集します。さらに学校図書館サイト等を通じて公開しているウェブ上の情報ファイルは印刷して冊子状にするなど、学校教育で活用しやすいように工夫しています。(写真2)

学校図書館外のコーナーは児童・生徒の動線が多い廊下掲示板に担当教員と学校司書が定期的に変えて郷土の情報を届けています。現在は、校舎の3階に第1コーナー、2階に第2コーナーを設けています。(写真3)

郷土資料コーナーは市内のどこの学校でも工夫しています。学校図書館へ足を運んでみてください。



写真3 校舎内 第1コーナー・第2コーナー

電子書籍サービスの活用 クロームブックで読書

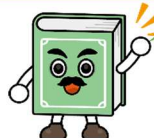
八王子市図書館は、市内に在住、在勤、在学の利用者を対象に「電子書籍サービス」を提供しており、インターネットに接続できるパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどで本や雑誌などを読むことができます。また、サービスの一つである「読み放題」は、ひとつのタイトルを同時に何人でも読むことができるので、貸出状況を気にする必要がありません。令和5年4月から、学校図書館の利用者 ID で電子書籍が読めるようになりました。

《小学校の活用事例》

○朝読書の時間や、テストが終了した後などの隙間時間に紙の本だけでなく電子書籍も読めるようにしている。

○絵本の読み聞かせをする際に電子書籍を利用した(授業時間内)。

電子書籍ならではの機能もあるよ！文字のサイズ変更、表示色の反転、音声読み上げなどができるんだ！（電子書籍ファイルの種類によります）



教えて

《中学校の活用事例》

○美術の授業のモチーフ探しで、目当ての

本が学校図書館に所蔵してなかったとき、電子書籍を使い必要な資料を見つけることができた。

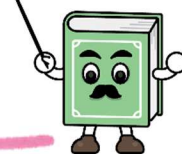
○国語の授業で夏目漱石の作品を読むために利用。「青空文庫」を使って、学校図書館の蔵書には収録されていない作品を探して読むことができた。

※青空文庫：著作権が消滅した作品などをインターネット上で見られるようにしたサイト。



高倉小学校 図書の時間で電子書籍を利用

校長先生！おすすめの本はなんですか？



八王子市立加住小中学校
校長 小川 博文

『兎の眼』

灰谷 健次郎 著

理論社



私が小学校 3 年生の時、クラスに学校では全く話さないクラスメイトがいました。話好きの私からしたら、学校で話さないイコール学校がつまらないと思い、そのクラスメイトが学校で話せるように、友人を誘って何度もそのクラスメイトの家に遊びに行きました。その後、中学生の時にこの本『兎の眼』と出会いました。読み終わった後、その頃を思い出したのを覚えています。子供達と教師が真剣に向き合い、お互いが成長してく姿に感動しました。かなり昔の本ですが、皆さんに読んでほしい本の一冊です。

※現在は角川文庫版、角川つばさ文庫版、が購入可能

八王子市立別所小学校
校長 川村 守

『乱世！八王子城』

山岩 淳 著

揺籃社



1590 年 6 月 23 日、豊臣軍として前田利家・上杉景勝・直江兼続・真田一族らの名だたる武将が攻めた城が、なんと八王子城でした。そして、この戦いの舞台裏を描いたのが本書です。

北条氏照の居城として、日本100名城にも選ばれ、また日本遺産の構成群にもなっている八王子城。郷土の誇りでもあるこの城について、子どもだけでなく、市民の皆さんや市内の先生方にももっと関心をもってほしいと願っています。この本は、各学校や八王子市図書館に収蔵されています。機会があれば現地にも足を運び、歴史のロマンを肌で感じていただければと思います。



発行：令和 6 年（2024 年）3 月 10 日

八王子市教育委員会

教育指導課 学校図書館サポートセンター

問い合わせ：042-664-1193